

会議名	第8回新城地域協議会		公開
日時	令和5年3月2日(木) 午後7時00分～午後8時20分	場所	市役所本庁舎4階 会議室
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、矢賀美紀代、浅田京二、伊藤哲夫、清水利高、 今泉澄夫、佐本達俊、高木猛至、丸山哲也、中川享子、今泉克英、 松井利文、後藤國與、鈴木雅晴、篠宮千栄子、今泉光俊、浅岡勝、 大瀧章義、村田博和、今泉栄、畠山恵美子		
	(事務局) 市民自治推進課：加藤参事 新城自治振興事務所：笹田所長、大岩主任		
欠席者	なし	傍聴者	なし
配布資料	次第、令和4年度新城地域自治区予算事業の執行状況について、 しんしろ地域計画の見直し(案)、地域計画推進体制検討会委員 推薦(案)、地域計画推進体制検討会委員推薦(案)、令和5年度 への引継ぎ事項について、こども110番のお店マップ(案)		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

<p><b>1 開会</b> 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (今泉克英委員、松井利文委員)</p> <p><b>2 説明</b> 令和4年度新城地域自治区予算事業の執行状況について</p> <p><b>3 議事</b> (1) 地域計画の見直し案について 2月16日(木)に開催された第7回地域計画分科会で方針決定されたしんしろ地域計画の見直し(案)について、高木委員長から概要を説明した。なお、今後のスケジュール等については事務局から説明した。その後、原案のとおりしんしろ地域計画の見直し(案)が決定された。 また、本地域協議会での意見を始め、しんしろ地域計画の見直し(案)の文言や表現の仕方等について、内容を変えることなく軽微な修正が必要な場合には、会長、地域計画分科会委員長、事務局に一任することが決定された。さらに、パブリックコメントを実施した結果、地域の方から意見がなかった場合や修正が必要な意見がなかった場合には、新城地域協議会を再度、開催して最終決定をすることなく、しんしろ地域計画の見直し(案)がそのまま最終決定されることが決定された。</p> <p>主な意見 (委員) 桜淵公園の課題と現状で、桜淵公園の観光整備が不十分であると書かれているが、色々公園も整備されたと思うため、そういう状況を考えると不十分という書き方はどうなのか。ある程度改善はされたような気がする。 (事務局) 桜淵公園のマップづくりもされており、公園の整備もされている。それから散歩のデッキも作られている。確かに進んでいると思うが、果たしてそれで十分でよいのか、改善の余地があるのではないかとこのところ、桜</p>
--

淵公園マップ等を作っているが、皆さんの案の中でより良いもの、より良い桜淵にしていくという形の中で、こういう言葉が強かったかもしれないが、柔らかい言葉に変えることも構わないと思う。

(会 長) 昨年度、桜淵公園マップができたと思う。その中からも今現在、整備は進んでいるが、新城側でやってほしいことも多いと思う。桜淵は桜だけでなく紅葉の名所でもあるため、そちらも知らせていくような整備ができていくとよいという声もあったし、そのようなことも踏まえて整備を進めてほしいという気持ちで書いてあると思う。

(委 員) 内容については全く異論がないが、活用の仕方を上手く、実効性のあるものにして生かしてもらいたいと思う。その中で、新城地区は新城の中でも狭くて小さい。それから4つの地域と接しており、ある意味国境があるが、隣の国が何をやっているのかよく分からないため、せっかく作られたものが隣の区と同じようなことをやっているのであれば、同じような形で活用されるような動きがされるのか。それから人口の推移を見ると、2060年にこんなに少なくなるのかと衝撃を受けた。例えば、小・中学生がこういうことを知っているのか、見た時にどう感じるのかと思う。したがって、この資料を例えば学校の自由研究や家庭に配って、学校でこの資料を使って勉強してもらって、14歳以下の子どもたちに見てもらった意見を上げてもらい、この見直しの中でまた活用されるようなアクションが起こされるのかどうか。

(事務局) 隣の区の色んな事業等については、新城でやっていないこともあるため、そういった情報は提供したいと思う。それと併せて、小学校の自由研究の課題・題材にこの計画が活用できると大変良いと思うため、小学校や中学校と相談をしながら、努力をしてみたいと思う。

(会 長) 例年、地域協議会会長会議等が数回持たれているが、その場で情報交換等がされている。そういう場を通じながら、お互いの事業について、似ている点や異なっている点等が把握でき、それが発展していけば地域を越えた協力体制ができると思うため、そういう場を有効に活用してもらえたらと思う。なお、市民自治会議で申し上げたことがあるが、地域自治区制度は良い制度であるため、皆さんに知ってもらうためにパンフレット等を作るにあたり、小学生にも分かるような工夫をして、それを教材として使ってもらえるような、子どものうちから地域自治区制度の良さを知っていくような活動をしてもらえればと思う。その辺も教育委員会と連携を取りながらできたらよいと思う。

(委 員) 実はこういった地域計画の中で、このPDCAを回していくということが一番の基礎である。それでこのPDCAが上手く回ればこの計画が実行に移るということである。そのためには書いてあるように、その計画の進捗状況を確認するということがあるが、この進捗状況を確認していく度にこの計画が実質的に動いていくということを我々は経験的に学んでいる。PDCAがどのように動いて今年度どうなったかについては、地域協議会の方からその評価をするということであるが、今どういう状況であるのかを皆さんがお互いに共通認識を持つためのことをやらないとこの計画がどうなったのかということになってしまうため、進捗状況をどのようにして確認し合うのか、具体的な方法は何かあるのか。

(事務局) 現時点では具体的に進捗状況の確認や評価をするものがない。令和5年度への引継ぎ事項で、地域計画の事業の進捗状況の確認や評価方法等を検討する予定である。来年度、引き続き地域計画分科会を開催して、そこで例えば評価シートの作成等、進捗状況が分かるようなものを地域計画分科会

委員の皆さんと考えて作り上げたいと思う。

(委員) 行政区別の人口及び世帯数の推移について、人口は減少しているが世帯数が増えているということで、核家族が進んでいることも事実だと思うが、高齢者の一人住まいが増えているような気がするため、核家族化だけではないと思う。

(事務局) 確かに独居老人の方が増えているような話は聞いているため、その辺も加味して、簡単に核家族化等が進んでいると書く方法と、しっかりデータを確認して、独居老人が増えていることの確認が取れば具体的に書くこともできると思う。

## (2) 地域計画推進体制検討会の委員推薦について

2月16日(木)に開催された第7回地域計画分科会で方針決定された地域計画推進体制検討会の委員推薦(案)について、事務局から委員の推薦理由を説明した。その後、原案のとおり地域計画推進体制検討会の委員推薦(案)が決定された。

### 主な意見

(委員) この検討会はどのような会になるのが望ましいのか、説明してほしい。

(参事) 今の地域計画を進めていくためには、このような組織を作って、団体や行政区がそれぞれ連携してやる等、色んなことができる。今後考えていかないと少子高齢化が進んでいくため、対応できないといったことを皆が共有して、その中でどのようにしていけばよいのか、人材をどのような形で入れていくようにすればよいのか等、そういったことを色んなところで検討している。

(会長) 長年、地域協議会に携わっているが、色々こういうことをやればよいのではないかということで、新城地域自治区の中でその案を協議しているが、実行団体がいないという部分もある。事務局の前任者の頃からも、協議した内容を実行に移すために、かなり1人で負担を被っていた。何かを作るにしても、全部事務局が作ったり、何かやる人も事務局が全部関わっている。それはそれでよいが、それだけでなくもっと実際に動ける団体がいないかどうか、そういう団体を開拓したり、自ら実際にやることについて関わっていく等、そういう部分がないとせっかく協議したことが進んでいかないという気もしていた。そのようなことも含めて、地域全体の中で、やってもらえる方や特技がある方に頼むと進んでいくのではないかな等、そういうことも踏まえて考えていけたらということで、この検討会が立ち上がっていると思う。基本的には地域協議会で協議したことをどのような形で実行していくのかということであり、もしこの検討が必要なければなしになってくるかもしれないし、必要があれば検討を続けていくことになると思う。

## (3) 令和5年度への引継ぎ事項について

事務局から資料に沿って説明した。その後、意見等はなく、原案のとおり令和5年度への引継ぎ事項が決定された。

## 4 その他

笹田所長から退任のあいさつがあった。